



カマノエリ沢

1987年7月27日

L

オトザキ沢との合流点より沢に入る。沢床は土砂に埋もれ、水はほとんど流れていない。この先が思いやられるが、気を取り直して出発。

オオエコウジ沢との合流点からはナメが現われ、わずかだが水も流れて、沢登りらしくなってくる。そして3m, 1.5m, 1.5mと3つの小滝が出てくる。

右支流が入ってからは、稜線も近づき、斜度がきつくなる。8時半、左岸のブナなどの樹林帯に逃げ込み、稜線へ。

稜線に出るとすごいヤブ。苦勞して稜線を進み、オトザキ沢の下降に移る。ヤブこぎの途中、燧ヶ岳がきれいに見えた。

(記・

[タイム] 出合(7:05)→沢終了(8:30)→稜線(8:55)

オトザキ沢

1986年7月27日

L

稜線よりヤマブドウなどの背丈より高く濃いヤブをこぎながら降り、支沢に出る。ここまで35分かかる。支沢はミズナなどが生え、沢床も見えない。草をかきわけるようにしてオトザキ沢に出る。

オトザキ沢は、沢幅も割合広く、明るい沢である。地図の林道はほとんど崩れ、踏跡程度。河原を下り、砂防ダムが出た所で、沢下降を終える。右岸から入る支沢などは、植林用の林道となっていた。

(記・

[タイム] 稜線(9:40)→支沢(10:15)→オトザキ沢出合(11:00)→砂防ダム(11:20)